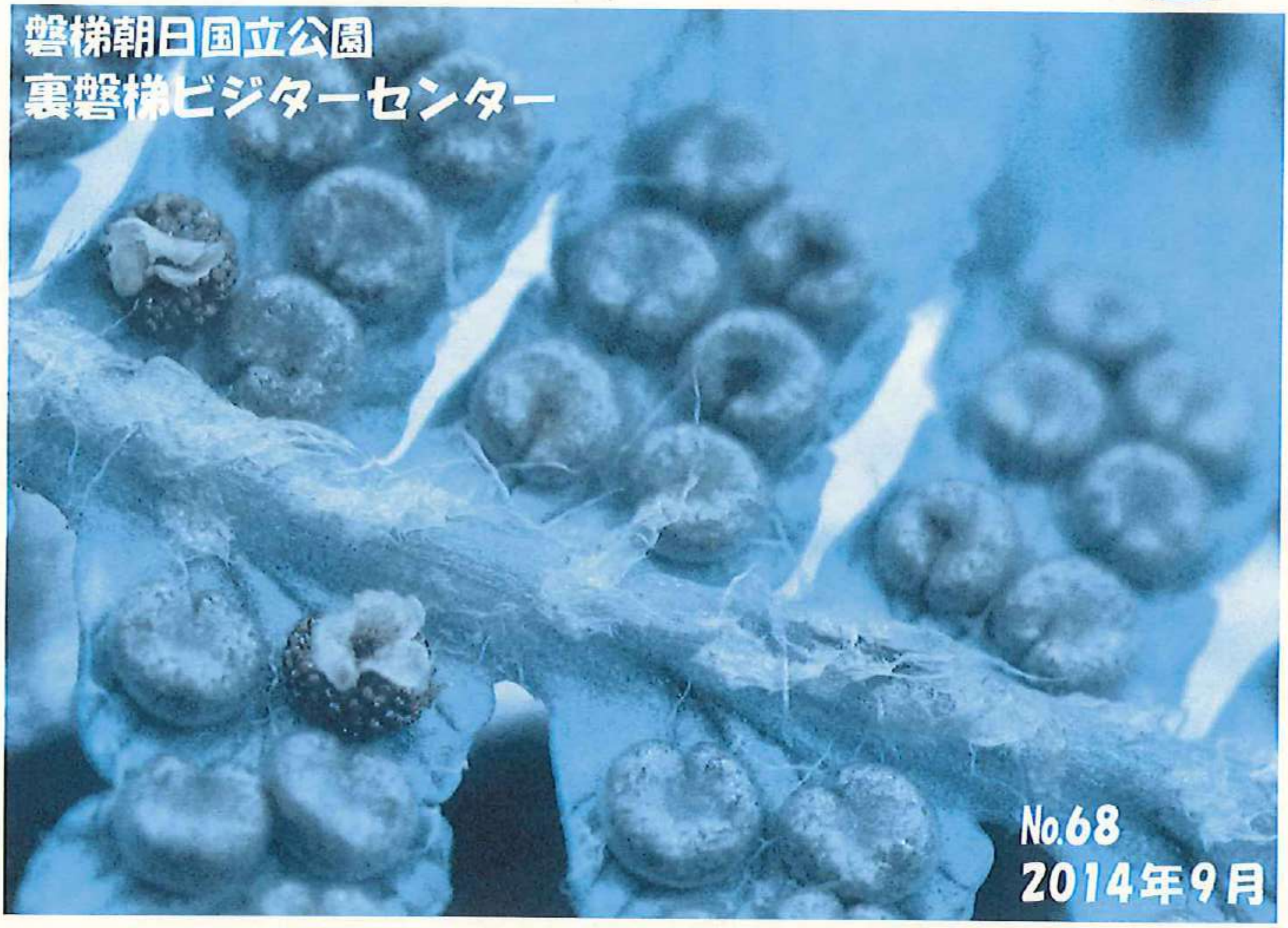
裏磐梯だより



小さな世界 ③

初夏から秋にかけて、五色沼自然探勝路を歩いていると大きな葉を噴水のように広げた植物をたくさん見かけます。

その大きな葉の植物は「オシダ」というシダ植物です。葉の裏側を見てみると小さな粒がたくさん付いているものがあります。小さな粒は約 1mm の包膜でこの中に約 0.1mm の胞子嚢が数十個、その胞子嚢の中に約 0.05mmのたくさんの胞子が入っています。

私には、このオシダの包膜がアズキのいっぱい詰まったお饅頭に見えてしまいますが、皆さんには、どう見えますか？

あまり目立たないシダ植物ですが、よく見て歩くと色んな種類のものがあります。葉の形や包膜の形の違いをよく観察して比べてみるのも面白いですよ。

（「オシダの胞子嚢」 2014 年 9 月 7 日）

20　　年　　月　　日

来館記念スタンプをどうぞ

■ 来館者 100 万人を迎えました！ ■

2003 年にオープンした裏磐梯ビジターセンターは、毎年多くの方にご利用いただいています。震災の年は年間の来館者が 5 万人と半減しましたが、徐々に回復し、今年 2014 年 8 月 9 日に 100 万人目の来館者を迎えることができました！

100 万人というたくさんの方々の来館を記念し、100 万人目と前後の組の方に記念品を贈呈しました。100 万人目は愛知県からお越しのご家族、その前後は神奈川県の親子と埼玉県の女性でした。

夏休みということもあり、3 組とも遠方から初めて裏磐梯を訪れたという方々でした。五色沼の散策の前の下調べのためや、五色沼を散策されている他のご家族を先回りし休憩がてら裏磐梯の自然を知ろうとご来館いただいたそうです。

裏磐梯ビジターセンターは、磐梯山周辺地域を訪れる方に自然の成り立ちやその魅力、利用の仕方についてご案内する施設です。ここで自然について知っていただいたり、その巧みな姿への驚きや発見のきっかけとしていただいたり、そしてその経験がご自宅の周りでも自然に目を向けるお手伝いにつながればと思っています。体力や天候状況などに合わせ、情報収集や自然体験、休憩の場などとして、今後とも、裏磐梯ビジターセンターをよろしくお願いいたします！

■ こんなの見なかった？ ■

裏磐梯でよく見かける不思議なもの…さて、なんでしょう？

裏磐梯の短い夏が終わり、少しずつ秋めいてきました。五色沼を歩いていると、木に飾りのような赤く小さな「モノ」がぶら下がっているのを見たことはありませんか？それも 1 種類ではなく、いくつかの形があります。

では、このぶら下がっている「モノ」は何でしょう？

①ビジターセンターのスタッフが作った飾り

②木の実

③虫のさなぎ

④お花

正解は②「ツリバナ」という木の実です。名前の通り、花や実が枝からぶら下がってつく木で、漢字では「吊花」と書きます。実は熟すと赤くなり、ぱかっと開いて傘のような形になり、オレンジ色の種を出します。そして、実ごと地面にぽとっと落ちます。

裏磐梯にはツリバナ、オオツリバナ、ヒロハツリバナの 3 種類が生育していて、それぞれ実の形が違います。上の方にはぶら下がっている実を足元には熟して落ちた実を見つけることができます。

ぜひ 3 種類とも探してみてください。

※五色沼は自然公園法により特別保護地区に指定されています。採取、持ち帰りは禁止されています。

■ 日本の国立公園 ■ 国立公園で働く方にその国立公園の魅力を訊きます

国立公園とは、日本を代表する自然の風景地を環境大臣が指定し、自然の保護や利用を図る地域のこと。日本には現在31の国立公園があり、裏磐梯は磐梯朝日国立公園に指定されています。

「知床国立公園」

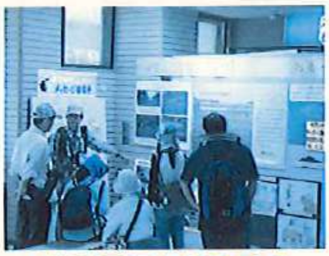
昭和39年6月1日指定／面積60,986ha(海域22,353haを含む)／北海道
知床自然センター　公益財団法人　知床財団　山野秀尚さんよりご紹介いただきます

知床国立公園は、日本最北東端に位置する知床半島の一部とその周辺海域で構成されます。流氷が到来する北半球最南端の地域であるという特異性、流氷がもたらす海の恵みがサケ科魚類を通じて陸に運ばれる「海・山・川」の関係性、ヒグマやシマフクロウ、シレトコスミレなどの希少生物が生息する自然環境、自然保護活動の取り組みなどが評価され、平成17年7月、知床は世界自然遺産にも登録されました。

年間約40万人が訪れる知床五湖
（国内2例目となる利用調整地区運用地）

そんな知床は、雄大な自然景観や野生動物との出会いを求めてたくさんの人々が訪れる一大観光地でもあります。

知床自然センターでは、来館者の皆様にこの豊かな自然をより楽しく体験していただくために、自然情報や散策情報を分かり易く丁寧にお伝えしております。また、知床の自然保全のよき理解者になっていただくために、知床で今起こっている問題や、課題解決に向けた現場の取り組みについて、来館者の皆様に直接お伝えする活動にも力を入れております。「人とヒグマがうまくやっていく道はあるはずだ」というタイトルでヒトとヒグマの共存を問う館内特別展示は必見、スタッフによる面白くてタメになるレクチャーは必聴ですよ。


特別展示を紹介する
地元ガイドさん

知床自然センタースタッフ
による館内レクチャー

■ ようこそ！ビジターセンターへ ■ 裏磐梯ビジターセンターの活動を紹介します

にぎやかな夏休みが終わりました！

7月、8月と夏は一気に通り過ぎていきました。

今年は、土日に台風がやってくるなど、人の動きが鈍いかと心配もありましたが、ビジターセンターには、多くの方が来館してくださいました。

毎年恒例となりました二つのイベント「夏休みプログラム」と「夏の講演会」も多くの方にご参加頂き、とても楽しいものとなりました。

夏休みプログラムでは、おなじみとなっている「これな～に？」などに加え、ウチダザリガニ（特定外来生物）に関するプログラムや工作プログラムなど、例年以上に賑やかな企画となりました。

講演会は、足立区生物園解説員 井原沙緒里さんをお招きし、両生類爬虫類の面白さや不思議をお話しいただきました。スライドを使ったお話の他、本物のカエルを触ったり見たり、中でもヒキガエルの鳴き声には皆さん驚かれた様子でした!!

今後も、様々なプログラムを行いますので、ぜひ、ご参加ください!!

■ お知らせ ■

※ウェブサイトからも裏磐梯だより最新号やイベント報告の詳細をご覧いただけます

開催中のイベント

◆わくわく散歩◆

磐梯山や五色沼のお話し、動植物の観察をしながら毘沙門沼周辺を散策しませんか？

開催日時：11月３日までの土日祝 10:00～
※午後の開催については電話でご確認ください。
所要時間：約 80 分
参加費：大人 1000 円 子供 500 円
定員：8 名

◆スライドトーク◆

スライドを見ながら五色沼・磐梯山・動物などのお話しをします。
終了後にワンポイントウォッチングも行います。

開催日時：11月３日までの土日祝 13:30～
所要時間：約 25 分＋10 分
参加費：無料
定員：40 名

※日によって時間などが変更になる場合があります。

秋のイベント

裏磐梯ビジターセンター自然体験活動運営協議会主催イベント

講演会「外来植物のお話し」（仮）

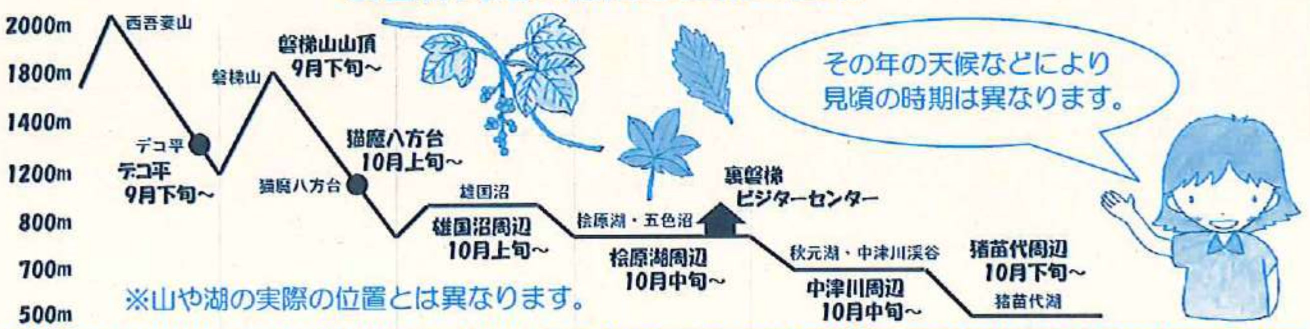
今年の秋の講演会は福島大学共生システム理工学類黒沢高秀教授をお招きして裏磐梯の外来植物についてお話していただきます。

※詳細はホームページ、または電話でお問合せください。

展示「ジオパーク」開催！

10 月 1 日～31 日までビジターセンター作業室でジオパークの展示を開催します。ジオパークって何？どんなところ？磐梯山ジオパークを通してジオパークの見方や楽しみ方を知ることができます。ぜひ、ご覧ください。

裏磐梯周辺の標高と紅葉の目安



秋の散策で気をつけてほしいこと

- スズメバチ…この時期、活動が活発になります。香水や整髪料、黒い服装は避けましょう。
- ツキノワグマ…冬ごもりの準備のため木の実などを探して歩いています。ばったり出会ってしまわないように熊鈴などをつけて歩きましょう。
- ウルシの仲間…他の植物よりも早く色づきます。綺麗な落ち葉でもむやみに拾わないようにしましょう。

「裏磐梯だより」について

■ ウェブサイトからもご覧いただけます！
年間６回（奇数月）の発行ごとに更新します。
どうぞおたのしみに！

■ 総集編 vol.1～3 販売中!!
※各１冊　1,300 円（税込）
裏磐梯ビジターセンターにて販売しています。

■ 郵送でお届けする定期購読も！
ご希望の場合は、ご住所とお名前を明記の上、82 円切手６枚（1 年間６回の送付分）を同封して裏磐梯ビジターセンター宛にご郵送ください。

★ビジターセンターの窓から★

窓からの景色にツバメが見えなくなりました。代わりに違う鳥さんたちが見えるようになるのはもう少し先でしょうか。（わっしー）

服や布団を重ねるか葛藤する毎日です。動物たちはそんな葛藤しないのかな？（くらら）

少しずつ、木々の葉が紅くなってきています。色んなところに行って、秋の裏磐梯を楽しみたいです。（ろっぴ）

秋の実りで動物たちが忙しそうに？走り回っているのを見かけます。車には気をつけてね！（ひろ）

磐梯朝日国立公園　裏磐梯ビジターセンター

入館無料

開館時間
夏季（4月～11月）　午前９：00～午後５：00
冬季（12月～3月）　午前９：00～午後４：00
休館日
毎週火曜日、年末年始
（火曜祝日の場合は開館し翌日休館）

〒969-2701
福島県耶麻郡北塩原村大字桧原字剣ヶ峯 1093-697
TEL　0241－32－2850
FAX　0241－32－2851
ウェブサイト　http://www.urabandai-vc.jp

《編集・発行》裏磐梯ビジターセンター自然体験活動運営協議会 2014／9／20 次号は 11 月中旬に発行予定※裏磐梯だよりの営利目的での使用をお断りします